【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年11月15日(2023.11.15)

【国際公開番号】WO2022/138876
【出願番号】特願2022-571655(P2022-571655)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/00　３６０Ｚ
Ａ６１Ｂ　6/00　３５０Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月5日(2022.10.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プロセッサ及びメモリを有し、かつユーザによって携帯可能である画像診断支援装置であって、
前記プロセッサは、
医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、
コンソールからコンピュータ支援診断処理要求と前記医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルとを受信し、前記コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を前記コンソールに送信する通信処理と、
前記コンソールから前記コンピュータ支援診断処理要求を受信したか否かを判定し、前記コンピュータ支援診断処理要求を受信したと判定した場合に、前記画像ファイルから個人情報のうちの少なくとも一部を削除する個人情報削除処理と、
を実行する画像診断支援装置。
【請求項２】
前記プロセッサは、前記付帯情報から個人情報のみを削除する、
請求項１に記載の画像診断支援装置。
【請求項３】
前記プロセッサは、前記画像ファイルを、前記付帯情報を含まない画像データに変換することにより、個人情報を削除する、
請求項１に記載の画像診断支援装置。
【請求項４】
前記プロセッサは、前記画像ファイルを、前記付帯情報を含まない画像データに変換した後、変換後の画像データに、前記付帯情報のうち個人情報が削除された情報から少なくとも一部を取得して関連付ける、
請求項１に記載の画像診断支援装置。
【請求項５】
前記プロセッサは、前記医用画像を用いて学習を行った学習済みモデルを用いて前記コンピュータ支援診断処理を行う、
請求項１から請求項４のうちいずれか１項に記載の画像診断支援装置。
【請求項６】
前記プロセッサは、個人情報が削除された前記画像ファイルを、前記学習済みモデルを

再学習させるために前記メモリに格納する、
を備える請求項５に記載の画像診断支援装置。
【請求項７】
前記プロセッサは、前記コンソールから受信した前記画像ファイルをすべて削除する、
請求項１から請求項６のうちいずれか１項に記載の画像診断支援装置。
【請求項８】
前記プロセッサは、電源がオンとされたことに応じて、前記画像ファイルをすべて削除する、
を備える請求項７に記載の画像診断支援装置。
【請求項９】
前記プロセッサは、前記コンピュータ支援診断処理の結果を前記コンソールに送信することに応じて、前記画像ファイルをすべて削除する、
を備える請求項７に記載の画像診断支援装置。
【請求項１０】
前記プロセッサは、前記コンピュータ支援診断処理の結果を前記コンソールに送信した後、前記コンピュータ支援診断処理の結果を含む前記画像ファイルをすべて削除する、
を備える請求項７に記載の画像診断支援装置。
【請求項１１】
ユーザによって携帯可能である画像診断支援装置の作動方法であって、
医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、
コンソールからコンピュータ支援診断処理要求と前記医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルとを受信し、前記コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を前記コンソールに送信する通信処理と、
前記コンソールから前記コンピュータ支援診断処理要求を受信したか否かを判定し、前記コンピュータ支援診断処理要求を受信したと判定した場合に、前記画像ファイルから個人情報のうちの少なくとも一部を削除する個人情報削除処理と、
を実行する画像診断支援装置の作動方法。
【請求項１２】
プロセッサ及びメモリを有し、かつユーザによって携帯可能である画像診断支援装置において、前記プロセッサに処理を実行させるプログラムであって、
医用画像に対するコンピュータ支援診断処理と、
コンソールからコンピュータ支援診断処理要求と前記医用画像と付帯情報とを含む画像ファイルとを受信し、前記コンピュータ支援診断処理の結果を含む情報を前記コンソールに送信する通信処理と、
前記コンソールから前記コンピュータ支援診断処理要求を受信したか否かを判定し、前記コンピュータ支援診断処理要求を受信したと判定した場合に、前記画像ファイルから個人情報のうちの少なくとも一部を削除する個人情報削除処理と、
を前記プロセッサに実行させるプログラム。